



PlayStation 4 CUH-1200の分解

このガイドはPS 4、モデル番号CUH-1200Aの解体ガイドです。

作成者: TronicsFix



はじめに

SonyのPS4ゲームコンソールには、現在3つの異なるモデルがあります。これは最新バージョンであり、多くの変更があります。何が変わったかを見るためにこれをこじ開けます。

*注意:このガイドを使用する際は自己責任で行なってください。TronicsFixはこのガイドを使用したことに対するあらゆる被害に一切の責任を負いません。

ツール:

- #0 プラスネジ ドライバー (1)
- T9 トルクスセキュリティネジ用ドライバー (1)
- Small Needle Nose Pliers (1)
- Probe and Pick Set (1)

手順 1 — PS4 CUH-1200の開封



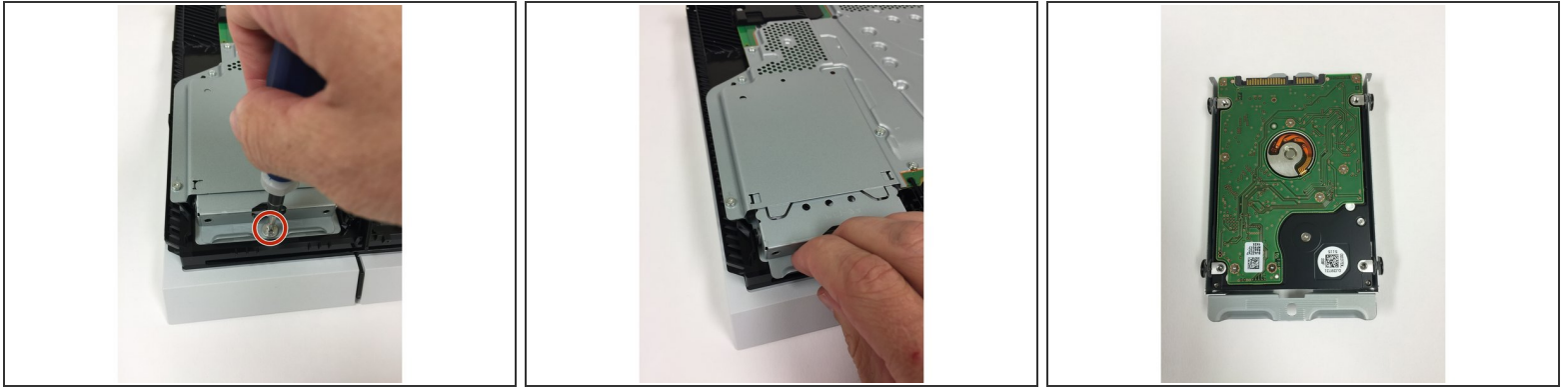
- CUH-1200Aを開封します。

手順 2 — さあ、分解を始めましょう！



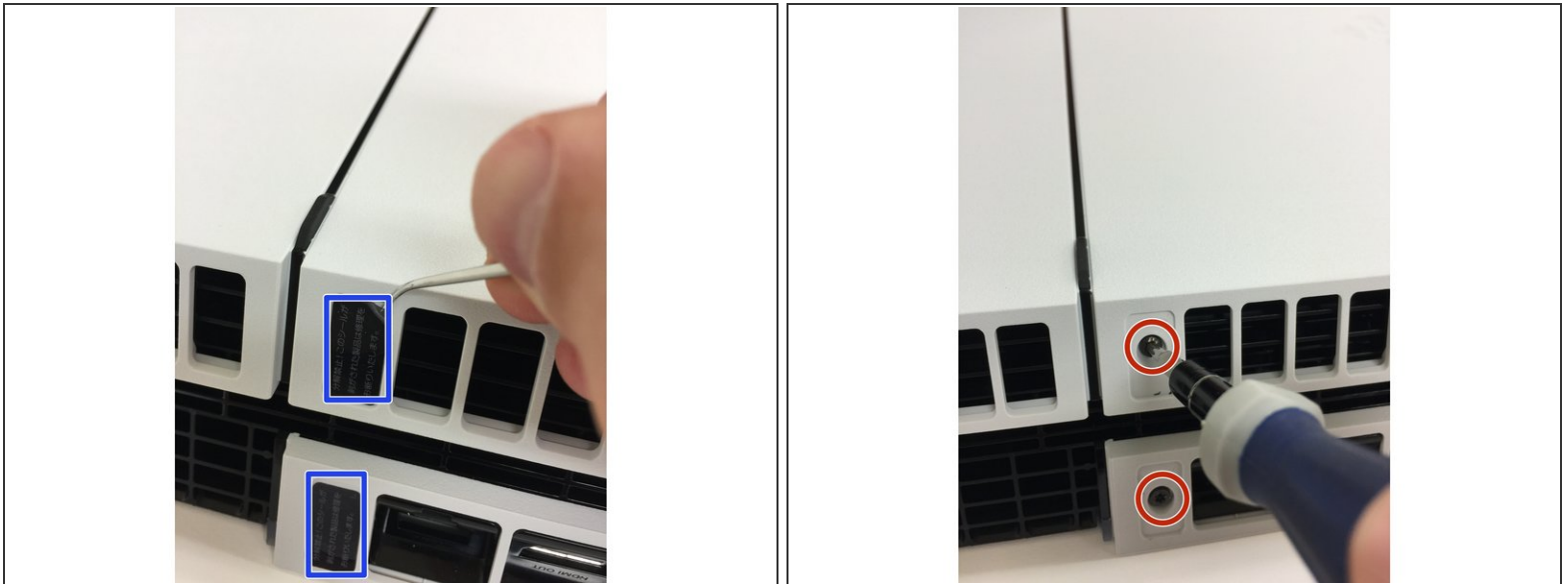
- 前モデルのようにハードドライブカバーをスライドして外します。

手順 3 — ハードドライブの取り外し



- ハードドライブは1本のネジを外し、スライドして取り外します。
- このステップではPH0のドライバーが必要です。

手順 4 — 保証ステッカーの除去



- 錐もしくは類似したツールで保証ステッカーを剥がし、下に隠された黒いT9セキュリティネジ2本を露出します。
- 2本のT9セキュリティネジを外します。
- これは最初の大きな変更です...ここには2本のネジとそのプラスチックカバーのみしかありません。旧版修理ガイドでは4本と表記されていました。

手順 5 — トップカバーの取り外し



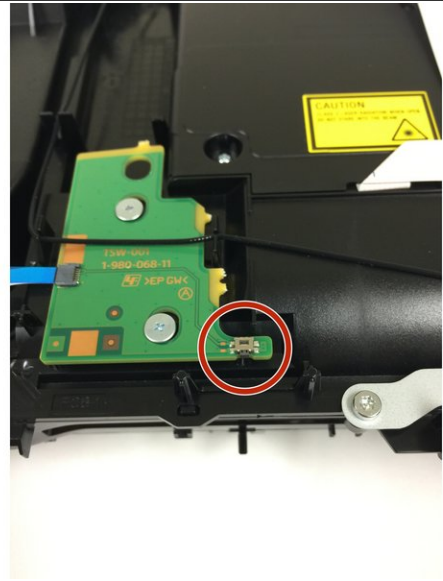
- 最初にPS4のトップカバーを固定している2つのネジを取り外します。以下の手順に従うと容易に取り外すことができます:
 - 1)電源ボタン付近の、トップカバーの下部を掴みます。
 - 2)掴んだ部分を持ち上げます。カチッという音がするまで持ち上げます。
 - 3)掴んだ部分と反対側のトップカバーに手を掛け、同様に持ち上げます。
 - 4)トップカバーの両側を持ち上げたあと、トップカバーを後ろ側にスライドし、PS4から取り外します。
- こうしてCUH 1200の内部を見ることができます。最初に気づくことは、マザーボードはとても小さく、APUクランプは完全に再設計されています。このモデルの内部は前モデルとは完全に違うものです。

手順 6 — ボトムカバーを外します



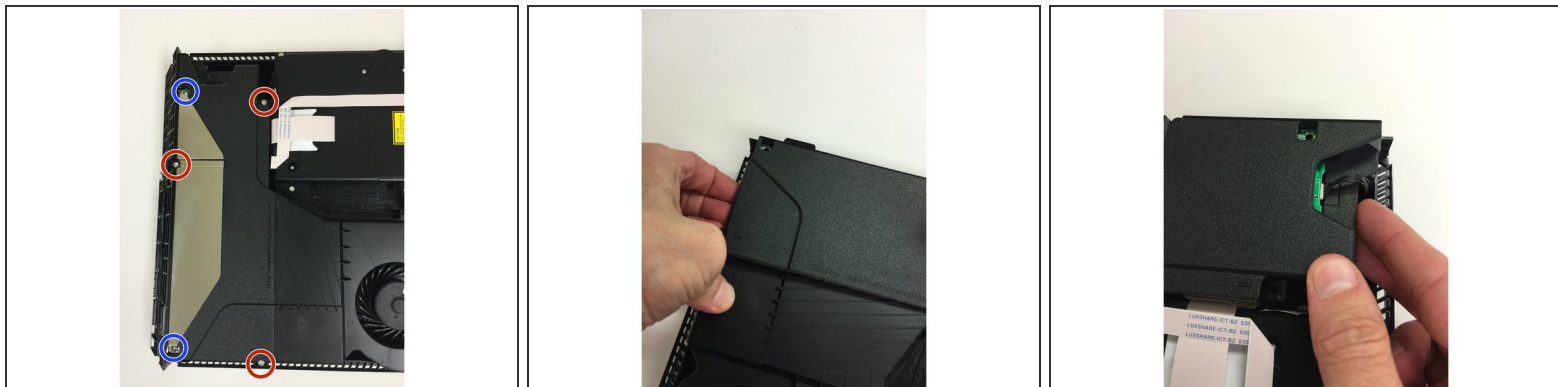
- ボトムカバーを取り外すには、カバーの両端を、コンソールの背面付近からかなり強く引き上げる必要があります。
- 両手だけを使って引っ張ることは可能ですが、工具などを使用してこじ開けることが必要になる場合もあります。
- まずコンソールの下側にある部品を見てみましょう。電源と光学ドライブの設計が変更されたようです。

手順 7 — ボタンにご注意ください！



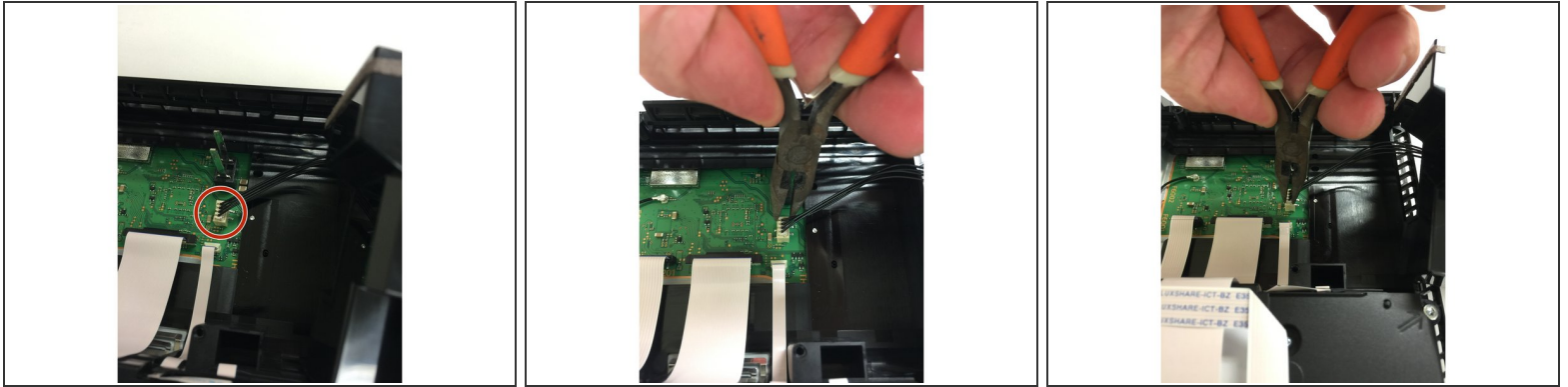
- 底部のプラスチックを外すと、Sonyが採用を決定した物理イジェクトボタンがあります。これもまた旧モデルからの大きな変更点の1つです。
- この変更により、旧モデルの難点であった、ディスクの「ランダムイジェクト」が発生しにくくなったものと思われます。

手順 8 — 電源を取り出します



- T9トルクスねじ3本を、次にPH 0長軸プラスねじ2本を取り外します。
 - 左側（4本のワイヤがない側）を引き上げ、次に右側を引き上げます。電源の右側は引き上げにくいので、強く引っ張る必要があります。
- ⚠** 電源が緩んだら、少しだけ上に引き上げられるようになりますが、まだ4芯ワイヤコネクタで接続されているため、これらを取り外す（次の手順を参照）までは一気に引き抜かないでください。

手順 9 — 電源コネクタを取り外します

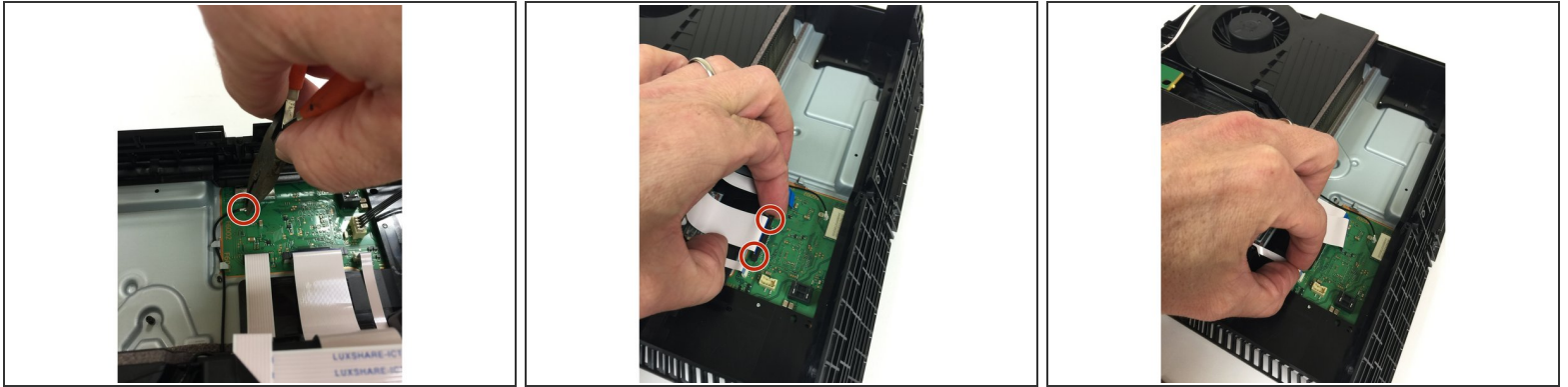


- マザーボードから、この4芯ワイヤコネクタを取り外す必要があります。
- 私たちが発見した最も簡単な方法は、小さいプライヤーを使用するものです。まず片側を引き上げ、次にもう片側を引き上げます。外れるまで、片側ずつ前後に動かします。
- これで電源を取り外せます。

 このコネクタはマザーボードから簡単に抜けてしまうため、注意してください。

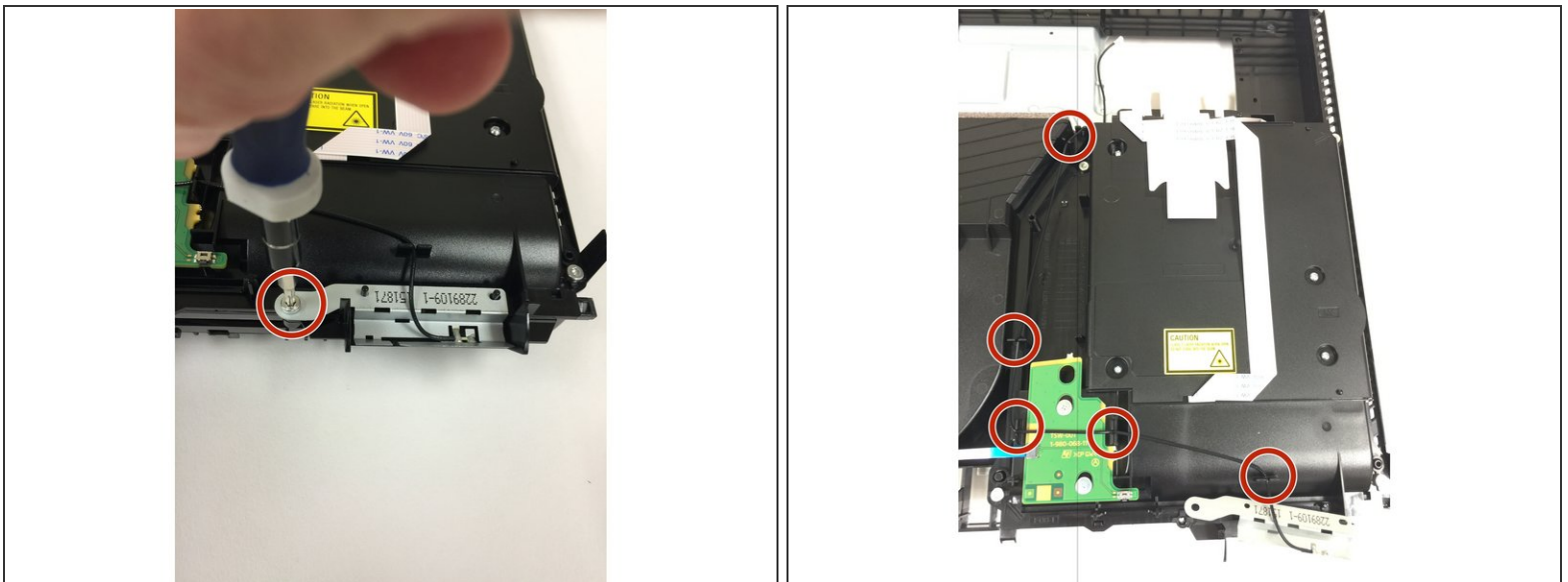
 マザーボード側のコネクタではなく、電源につながっているワイヤのコネクタを引っ張っているか、確認してください。

手順 10 — Wifiアンテナの接続を外します。



- 同じプライヤーを使用して、WiFiアンテナケーブルをつまみ、慎重に引き上げます
- かなり広い光学ドライブケーブルには、黒い「襟」がついており、その両側を引き上げます。これでケーブルが外れます。
- 他の2本のケーブルは、それぞれのソケットから簡単に抜くことが可能です。

手順 11 — WiFiアンテナを巻き戻して外します



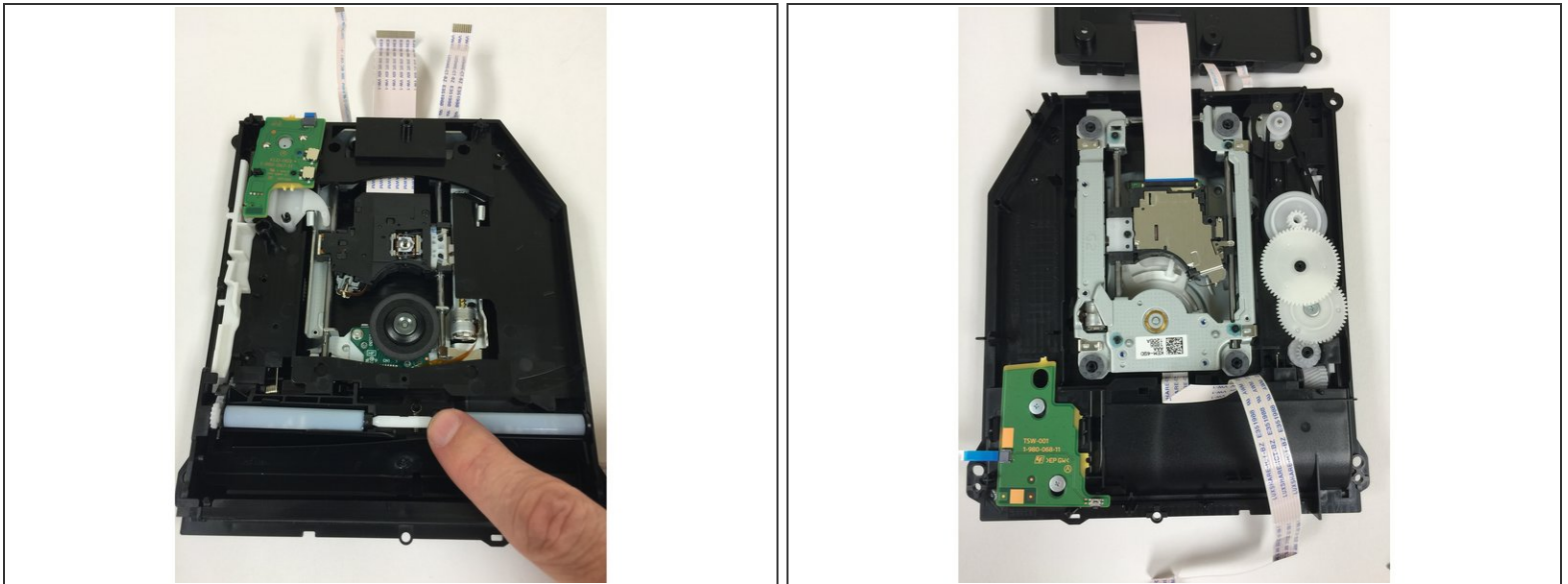
- WiFiアンテナを固定している、T9トルクスねじを取り外します。
- WiFiケーブルを経路から解放します。

手順 12 — 光学ドライブの取り外し



- 光学ドライブから小サイズのリボンケーブルを取り外します。
- T9セキュリティトルクスネジを5本外します。
- 緑のPCBボードと共にPH 0プラスネジを2本外します。

手順 13 — 光学ドライブについて



- 光学ドライブの設計が変更されていますが、今回も間に白いバーを使用した同じローラーシステムが採用されています。またこれらの白いバーが脱落する問題が発生しそうですね。
- レーザーとキャリアは、旧モデルと非常に似ています。

手順 14 — トップメタルシールドの取り外し

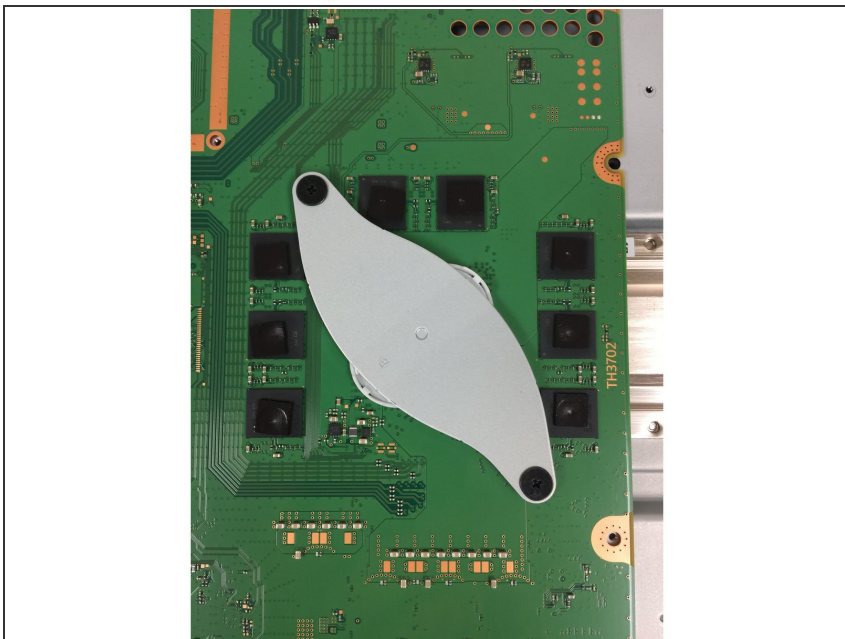


- T9セキュリティトルクスネジを12本外します。

i 左上の黒いカバーの下にある小さな金属製のナットを紛失しないように注意してください。このナットは、前の手順で取り外した電源を保持している2つの長いネジのうちの1つのためのものです。

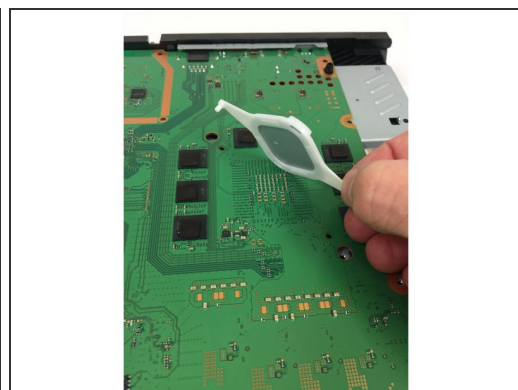
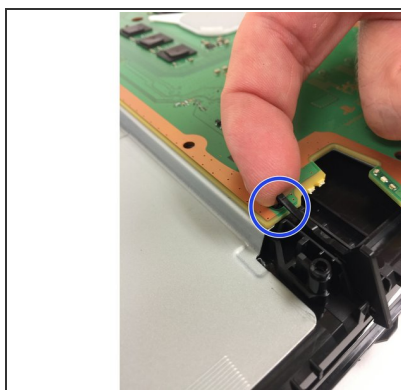
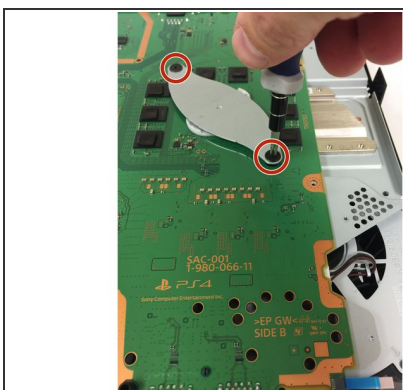
- PH 0プラスネジを6本外します。
- PH 0プラスネジを3本外します。
- PH 0プラスネジを2本外します。
- コンソールからトップメタルシールドを引っ張り出します。

手順 15 — マザーボードについて



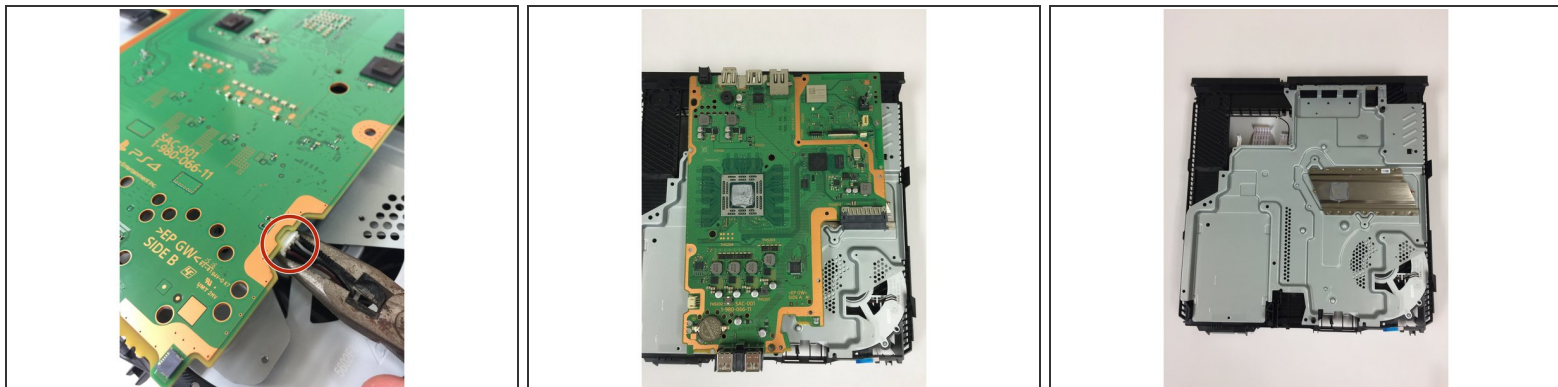
- サイズ以外でまず最初にマザーボードで気がついたのは、Sonyが大幅にヒートシンククランプの設計を変更した点です。これによりPS4の電源がオンからすぐにオフになる問題が減少するか、または消滅するものと推測されますし、そうなるといいですね。

手順 16 — ヒートシンククランプと電源ボタンを外します



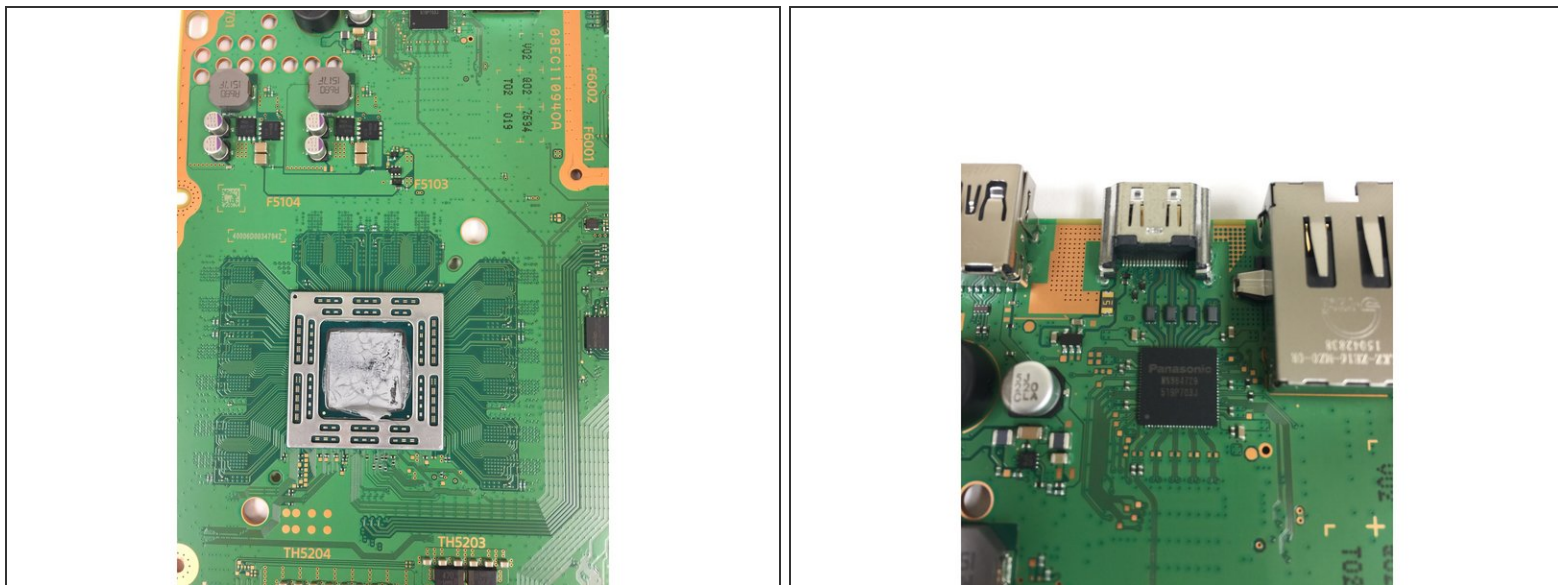
- PH0プラスねじ2本を取り外します。
 - クランプを取り外したら、その下のスペーサも取り外してください。
- マザーボードに掛かっているフックを引き上げて、電源ボタンを取り外します。
 - フックを持ち上げたら、手前に電源ボタンをスライドさせて取り外します。

手順 17 — マザーボードを取り外します



- マザーボードの前部を持ち上げると、まだファンのプラグが接続されていることに気がつきます。これは小さいプライヤーでつかんで取り外すことが可能です。
- これを取り外すと、マザーボードを持ち上げて取り外せます。

手順 18 — マザーボードについて



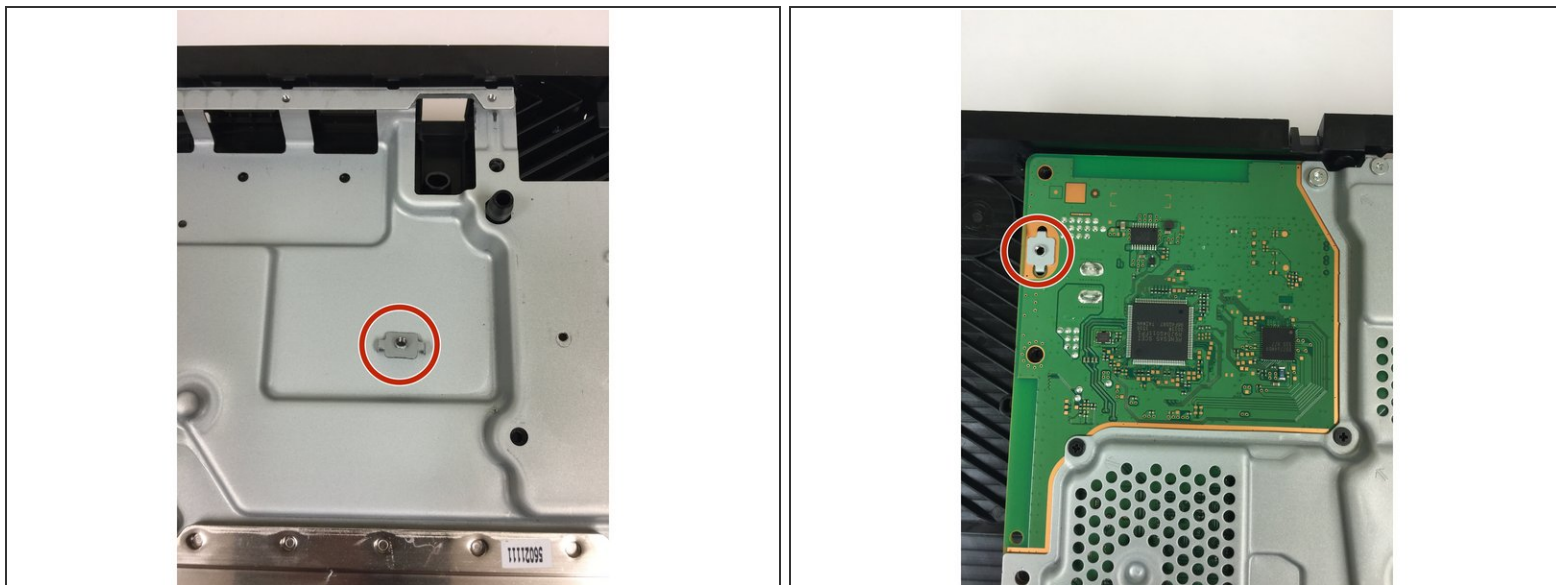
- ここで旧モデルとこの新しいモデルとの、大きな違いの1つが現れます。マザーボードの片側にRAMがありません！
- このモデルにも同じ容量のRAMが存在するのですが、RAMチップの総数は半減しています。
- その他には、HDMIポートの設計がようやく変更されました。旧式は非常に故障しやすかったもので、これは素晴らしいニュースですね。

手順 19 — ファンを外します



- PH0プラスねじ3本を取り外し、次にメタルピースを取り外します。
- これらを取り外すと、あとはファンを固定しているプラスねじ (PH0) 1本を残すのみとなります。これを取り外せば完了です。

手順 20 — 紛失しやすいパーツにご注意を！



- このPS4を組み立て始めた際に、底部の金属シートに小さなピースがあることに気がつきました。コンソールを組み立てると、このピースがマザーボードの上に来て、そこで電源の長軸ねじの1つを受けるようになっています。黒いプラスチックピースがこの部分を覆っています。

手順 21 — 終わりに



- 根本的に異なるこのモデルのPS4では、Sonyが旧モデルでの問題（HDMIポートなど）をいくつか解決できていることを願っています。そうになっているものと用心深く楽観視しています。